

近畿学校保健学会通信

No.60

昭和 63 年 5 月 16 日 発行
近畿学校保健学会事務所
〒640 和歌山市九番丁27番地
和歌山県立医科大学衛生学教室内
TEL0734-31-2151(内線324)
振替口座 大阪4-107021番

第35回 近畿学校保健学会案内

(下記のように、学会を開催します。関心のある方は、どなたでも参加できます)

主催 近畿学校保健学会 協賛 京 都 府 医 師 会
後援 京都府教育委員会 京都府歯科医師会
京都市教育委員会 京都府学校薬剤師会

会 長 金 井 秀 子 (京都教育大学 教授)
事務局 長 寺 田 光 世 (京都教育大学 教授)
事務局次長 山 際 哲 夫 (京都教育大学助教授)

〒612 京都市伏見区深草藤森町 1
京都教育大学教育学部体育学科内
第35回近畿学校保健学会事務局
T E L (075) 641-9281
銀行口座 京都銀行 (墨染支店) 普通
口座番号 (普通) 194-612120

日 時 昭和63年 6 月12日(日) 9:00~17:00

会 場 京都教育大学教育学部 (次頁図参照)
京都市伏見区深草藤森町 1

日 程

9:00	9:30	12:20	12:30	13:20	13:30	14:00	14:50	15:00	16:50	17:00	18:30
受	一般講演		(昼食)		総 会	特別講演		シンポジウム		懇 親 会	
付	第 1 会場		評議員会								
	第 2 会場		3 階*		3 号館	3 号館		3 号館		3 階*	
	第 3 会場		大会議室		第一会場	第一会場		第一会場		大会議室	

* 事務棟

会 費 正 会 員：年会費 3,000円 (ただし既納者は不要)
当日会員：参加費として 2,000円 (資料代を含む)
学生当日会員：参加費として 1,000円 (資料代を含む)
評 議 員：評議員会場にて昼食を用意致しますので代金 1,500円をいただきます。
懇親会費：3,000円

＜学会場への交通のご案内＞

京都教育大学

(京都市伏見区深草藤森町1番地)

電話 (075) 641-9281

・京阪電鉄 墨染駅下車徒歩10分

(近鉄の場合は丹波橋駅で京阪電鉄に乗り換える)

・京都市バス 16号系統京都教育大学前下車

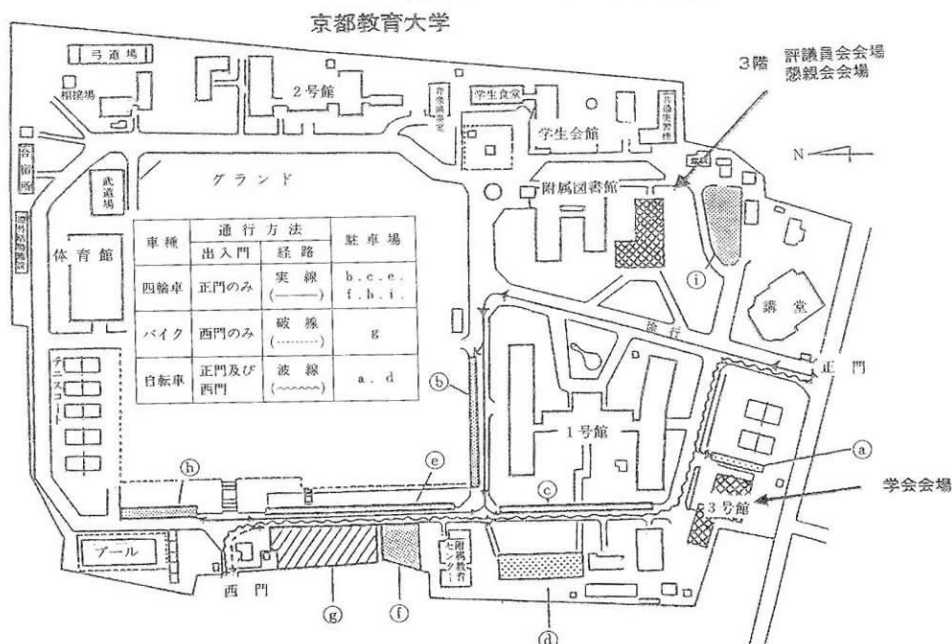
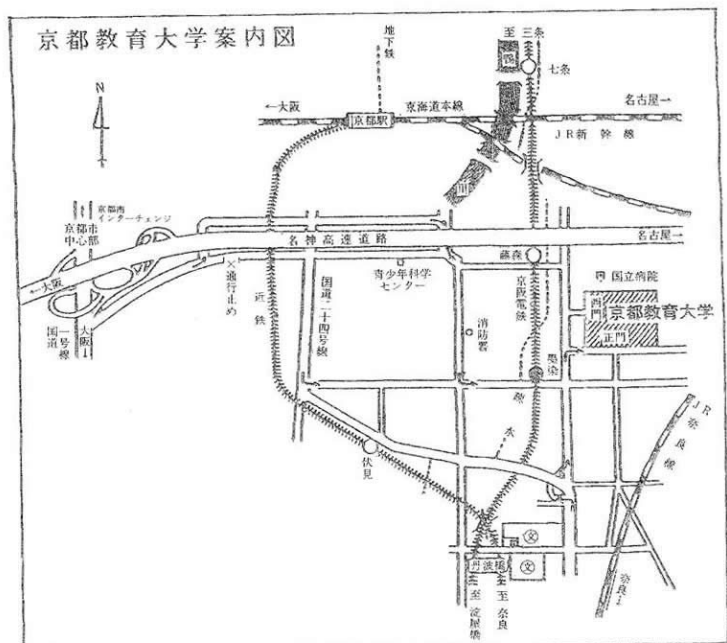
所要時間 近鉄京都ー丹波橋 急行で約10分

京阪丹波橋ー墨染 普通で約2分

京阪三条ー墨染 普通で約15分

(京阪墨染駅は普通しか停車しませんから御注意ください)

➡ 一方通行



運営についてのご連絡

○参加者へ

1. 会費

- (1) 会費既納者……一般会員受付で府県名、氏名をお申し出いただき名札をお受け取り下さい。
- (2) 会費未納者……一般会員受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属等を御記入のうえ、会費3,000円をお納め下さい。

2. 当日会員………当日会員受付で記入票を受けとり、氏名、住所、所属等を御記入のうえ、参加費として2,000円をお納め下さい。

3. その他

- (1) 名札に所属、氏名を御記入いただき、会場内では必ず着用して下さい。
- (2) 昼食券は販売いたしません、弁当の販売をいたしますので御利用下さい。
- (3) 懇親会のお申し込み(3,000円)を受け付けておりますのでお問い合わせの上御参加下さい。
- (4) 評議員会 出席の方は会費(昼食代) 1,000円を別途受付にてお支払の上引換券をお受けとり下さい。
- (5) 駐車場は200台位(学生用、職員ならびに外来者用)可能ですので御利用下さい。

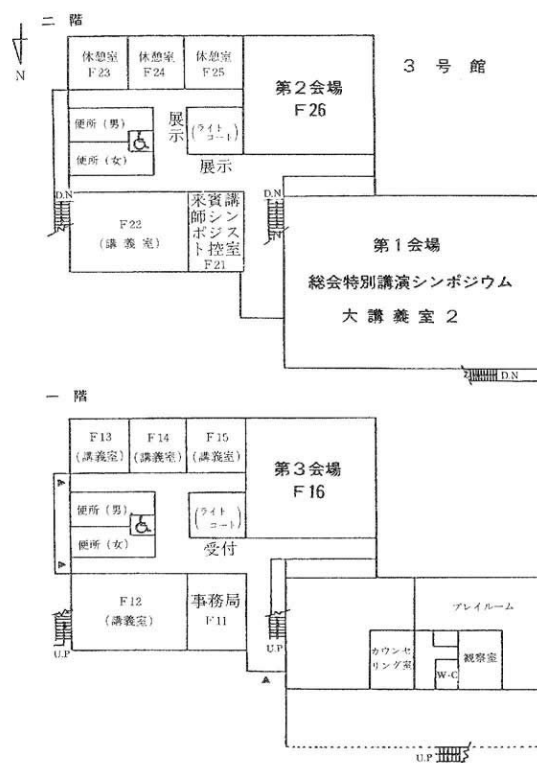
○発表者へ

1. 前演者の口演が始まると同時に、各会場前方の次演者席に必ず着席して下さい。
2. 発表時間は8分間討論時間は5分以内です。時間の厳守をお願いします。(7分でベルを1回、8分で2回鳴らします。)
3. 各会場とも、発表は講演予稿集を用い、スライドは使用できません。配布資料のある場合は、発表の少なくとも30分前までには各会場受付に提出して下さい。
(配布資料は約100部御用意下さい。)

○座長へ

1. 前座長の登壇後直ちに各会場前方の次座長席に御着席下さい。
2. 受け持ち時間内の進行は座長に御一任しますが、1題あたり13分以内で進行されますようお願いします。

○会場見取図



第35回近畿学校保健学会プログラム

一般講演（講演8分、討議5分）—午前の部—

第1会場（大講義室）

（9：30～10：09）

座長 林 正（滋賀大）

101. 食品の知名度・摂取回数・体位の相関の研究

○平野登志子（華頂短大）、川畑愛義、君羅 満、久恒恵美子（日本生活医研）、高木徳子、吉村磯次郎、庄司博延（京都女子大）、瀬戸 進（大谷大）

102. 体位・体力・知力の発育発達に関する研究

日比野朔郎（京都府大）、川畑愛義、森 京子、松原ヒサエ（日本生活医研）、
○瀬戸 進（大谷大）、吉村磯次郎（京都女子大）、三宅義信（薫英女短大）、平野登志子（華頂短大）

103. 学校保健統計資料から求めた下肢長発育の若年化について
—女子の場合を中心に—

○小西博喜（京都工繊大）、三野 耕（兵教大）、左 誠一（韓国・東亜大）、白石龍生（大教大）、森岡郁晴、吉田義昭、黒田基嗣、西村 弘、松本健治、武田真太郎（和歌山医大・衛生）

（10：09～10：35）

座長 竹 内 宏 一（奈良教育大）

104. 女子スポーツ選手の身長発育年齢と初経年齢について

○三野 耕（兵教大）、森岡郁晴、吉田義昭、黒田基嗣、西村 弘、松本健治、武田真太郎（和歌山医大・衛生）

105. 身長発育年齢を基準とした時の体力・運動能力評価の試み

○三野 耕（兵教大）、小西博喜（京都工繊大）、五十嵐裕子（神大・明石中）、左 誠一（韓国・東亜大）、白石龍生（大教大）、松本健治、武田真太郎（和歌山医大・衛生）

（10：35～11：01）

座長 瀬 戸 進（大谷大）

106. 保健学からみた脚筋力値の評価に関する研究

○大山良徳、吉田浩重、山下秋二、岩井浩一、若吉浩二、平井富弘、上野康夫、小島広政（阪大）

107. Down症児の身長発達について

○山本勝朗（堺・北条病院）、小西由美子（百舌鳥養護学校）

（11：01～11：40）

座長 吉 田 浩 重（大阪大）

108. 米国某教員養成系大学における保健関係教授要目（Syllabus）に関する考察（その1）救急処置の講義のあり方について

○竹内宏一（奈良教育大）
高橋裕子（兵庫県・姫路短大）

109. （演題取消し）

110. パソコンに蓄えた四測値データの保健学習教材への活用

○長谷川ちゆ子（西脇小）、
高尾桂子、横尾能範（神戸大・教育）

（11：40～12：19）

座長 大 山 良 徳（大阪大）

111. スキー実習に関する保健学的研究(1)

○加藤 弘、松岡勇二（和歌山大・教育）

112. 運動選手の禁煙が呼吸循環機能に及ぼす影響

○後和美朝、渡辺完児、白石龍生、上林久雄（大阪教育大）、小島広政（京都産大）

113. はだし運動者の下腿血流反応について

○田中邦彦、寺田光世（京都教育大）、筏 安子（京都教育大・附属京都小）

第2会場（F26教室）

（9：30～9：56）

座長 小 島 広 政（京都産大）

201. 異なる教育環境下での思春期女子生徒の心身の適応状態についての一考察

○原田潤自（京都市・洛陽工業高校）
小笹 縁（京都市・百々小学校）
小林豊生（京府医大・精神科）
金井秀子（京都教育大）

202. 心因性視力障害を呈した小児の情緒的発達と適応様式について

古賀恵里子（琵琶湖病院）、小林豊生（京府医大・精神医学教室）、金井秀子（京都教育大）

（9：56～10：35）

座長 今 井 英 彦（京都教育大）

203. 精神衛生相談からみた児童生徒の問題行動の一考察

○井上 猛（京都市・貞教小）
金井秀子（京都教育大）

204. 登校拒否の家庭背景についての一考察——卵性双生児事例を中心に——

○栗田修司（竜谷大）、斉藤紀子（広島市立已斐東小）

205. 登校拒否児童・生徒の自我の発達と対人関係について

○小林豊生（京府医大・精神医学）
古賀恵里子（琵琶湖病院）
金井秀子（京都教育大）

（10：35～11：01）

座長 寺 田 光 世（京都教育大）

206. 思春期前期における自立への働きかけ—第2報 きっかけとなったケースの取り組みについて—

○五十嵐裕子（神戸大学・教育・附属明石中）
友久久雄（京都教育大）

207. 思春期前期における自立への働きかけ—第3報 定期健康診断の事後措置としての保健指導の試み—

○五十嵐裕子（神戸大学・教育・附属明石中）
友久久雄（京都教育大）

（11：01～11：40）

座長 山 本 公 弘（奈良女子大）

208. 自らからだをみつめ健康な生活を築き自立する子をめざして
（祥豊の子どもの実態アンケートをふまえて）

長谷清子、○山中憲子、海原清子、堀内宏彰（京都市・祥豊小）

209. (演題取消し)
210. 大学生の健康観・体力観 弘原海 剛、松浦義昌、清水教永、○中上 勝
(大阪府大)

(11:40~12:19)

座長 松 岡 弘 (大阪教育大)

211. 小学生に対する性に関する実態調査
を通して 久保和生 (大安寺西小)
212. 精神遅滞児童生徒の性発達と行動 ○正田育美 (滋賀大)
森 忠繁 (岡山県環境保健センター)
林 正 (滋賀大)
213. 矯正施設収容児における性意識・性
行動の実態調査と一考察 ○川口俊彦 (京都府・桃山高校)
金井秀子 (京都教育大)

第3会場 (F16教室)

(9:30~10:09)

座長 米 田 幸 雄 (京都女子大)

301. CMIスクリーニングテストの結果
と考察 S56~S62の推移 今井英彦 (京都教育大・保健管理センター)
302. 大学入学志願者の調査書健康欄にお
ける記載方法の問題点 山本公弘 (奈良女子大)
—最近6年間の傾向—
303. 中学生用簡易健康調査質問紙票の児
童相談所クライアントへの応用 ○森 忠繁 (滋賀医大・保健管理)、林 正、
板持絃子 (滋賀大・教育)

(10:09~10:48)

座長 南 哲 (神戸大)

304. 私立女子中高校生の過去11年の歯科
検診の成果 高田健治 (阪大・歯・矯正学)、北口民子、
○平瀬悦子 (武庫川学院中高部)、保田好秀 (西宮
・矯正歯科医院)
305. パソコンによる「四測・視力の統計
と通知票」プログラムパッケージの
配布 ○横尾能範、高尾桂子、長谷川ちゆ子 (神戸大・
教育、西脇市・西脇小)
306. 学徒の不定愁訴に関する再検討 瀬戸 進 (大谷大)、川畑愛義、君羅 満 (日本
生活医研)、篠原昭二 (明治鍼灸大)、高木徳子、
吉村磯次郎、庄司博延 (京都女子大)、
○小島広政 (京都産大)

(10:48~11:14)

座長 山 際 哲 夫 (京都教育大)

307. スポーツ傷害予防に対する意識調査 ○森安由美 (豊中市・南丘小学校)
山際哲夫 (京都教育大)
308. 骨圧電気からみたスポーツ骨折につ
いて ○木村静雄、北村幸子、上野康夫、日比野翔郎
松原周信 (京都府大)、三宅義信 (大阪薫英女短
大)

(11:14~11:53)

座長 美 崎 教 正 (神戸大)

309. 中学生にみる保健室の来室状況と自覚的健康状態との関係
—第一報 保健室来室状況の一般的傾向—
竹内宏一 (奈良教育大)
○高橋裕子 (兵庫県・姫路短大)
310. 中学生にみる保健室の来室状況と自覚的健康状態との関係
—第二報 自覚的健康状態の一般的傾向—
竹内宏一 (奈良教育大)
○高橋裕子 (兵庫県・姫路短大)
311. 中学生にみる保健室の来室状況と自覚的健康状態との関係
—第三報 来室頻度から見た自覚的健康状態—
竹内宏一 (奈良教育大)
○高橋裕子 (兵庫県・姫路短大)

(11:53~12:19)

座長 妻 形 八重子 (京都市教委)

312. 中学校における最近の保健室の現状
(養護教諭として対応が困難であった症例と一考察)
○坂下邦子 (藤森中)、阿部順子 (神川中)
岡村小枝子 (桃陵中)、奥川祐子 (深草中)
中村美香 (醍醐中)、森 潤子 (向島中)
池田真理子 (桃山中)、細見妙子 (小栗栖中)
折野 恵 (向島東中)、音川八百子 (伏見中)
勝本貴子 (栗陵中)、山田由美子 (大淀中)
313. 本学付属校におけるアレルギー疾患の実態調査報告
○筏 安子、園 緑、石浦昭美、楠 裕子、田畑佳子、田村勢津子 (京都教育大・附属)
寺田光世、友久久雄、今井英彦、金井秀子 (京都教育大)

—午後の部— (大講義室)

特別講演 (14:00~14:50)

スポーツ障害予防と保健指導

榑 田 喜三郎 (京都府立医科大学教授)

座 長 金 井 秀 子 (京都教育大学教授)

シンポジウム (15:00~16:50)

子供の心身症予防における家庭と学校の役割

司 会 友 久 久 雄 (京都教育大学教授)

話題提供者 ① 水田 隆三 (京都第二赤十字病院小児科部長)

② 門 真一郎 (京都市児童福祉センター児童精神科)

③ 栗原 元一 (京都市立永松記念教育センター指導主事・カウンセラー)

④ 栗山千代美 (京都市立朱雀第八小学校養護教諭)

懇 親 会 (17:00~18:30)

大会議室 (大学事務局 3 階) 立食パーティ
(お誘い合わせの上多数御参加下さい)

会費 3,000円

近畿学校保健学会総会案内

会則第16条により下記のように学会総会を開催しますので、会員各位の参加を要請します。

近畿学校保健学会会員各位 殿

学 会 幹 事 長

記

1. 日 時 昭和63年6月12日（日） 13：30～14：00
2. 場 所 京都教育大学教育学部
3. 議 案 (1) 会務報告
(2) 昭和62年度会計決算について
(3) 昭和63年度予算案について
(4) 名誉会員の承認について
(5) 次期（第36回）学会開催地および会長について
(6) その他

以 上

昭和63年度会費納入について

第28回近畿学校保健学会総会において学会会則が改正され、昭和57年度より恒久会員制を設けることになりました。当分の間、本会の目的に賛同され会員として会費を納入して頂きますと、年2～3回学会通信及び年次学会の案内をお送り致します。又、昭和63年度年次学会（於京都）での研究発表は共同発表者も含めて会員でないとできませんので、会員を希望される方及び発表者（共同発表者も含めて）は昭和63年度会費3,000円を学会事務所まで納入されますようお願い致します。

近畿学校保健学会会則

第1章 総 則

- 第 1 条 本会は近畿学校保健学会と称する。
第 2 条 本会は学校保健に関する研究を行い、学校教育に寄与することを目的とする。
第 3 条 本会の事務所は幹事長のもとにおく。

第2章 事 業

- 第 4 条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 総会、年次学会の開催
2. 会誌その他出版物の刊行
3. 学校保健に関する調査研究
4. その他本会の目的達成に必要な事業

第3章 会 員

- 第 5 条 会員は本会の目的に賛同し、会費を納入したものである。
第 6 条 会員は年次学会、会誌などを通じて研究を発表することができる。また会誌の配布および本会の事業について連絡を受ける。
第 7 条 本会には賛助会員および名誉会員をおくことができる。
第 8 条 賛助会員は本会の目的を達成するために賛助の意を表し、評議員会の承認を経たもので賛助会費を納めたものである。
第 9 条 名誉会員は学校保健に関し、学識、経験に富み、本会に功労のあったもので、評議員会の推薦にもとづき、総会で承認されたものである。
第 10 条 会員は会費を滞納し、若しくは本会の名誉をけがす行為があったときには評議員会の議決により除名することができる。

第4章 役 員

- 第 11 条 本会に次の役員をおく。
1. 評議員 若干名
2. 幹 事 若干名（うち1名を幹事長、一部を常任幹事とする）
3. 監 事 2名
第 12 条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。役員は会員より選出されるものとする。
第 13 条 役員の選出方法は別に定める。
第 14 条 役員の任務を次のように定める。
1. 評議員は評議員会を組織する。
2. 幹事は幹事会を組織する。常任幹事は会務を処理する。幹事長は学会を代表し、会務を統括する。
3. 監事は会計を監査する。

第5章 会 議

- 第 15 条 本会の会議は総会、評議員会および幹事会とする。
- 第 16 条 総会は幹事長が毎年1回召集し開催する。必要に応じ臨時総会を開催することができる。
- 第 17 条 評議員会は幹事長が召集し、本会の運営に関する重要な事項を審議決定し、総会の承認をうけるものとする。
- 第 18 条 幹事会は幹事長が召集し、評議員会に提案する議題の審議ならびに総会、評議員会から委任された会務を処理する。
- 第 19 条 評議員会および幹事会は構成員の過半数をもって成立する。

第6章 年次学会

- 第 20 条 本会は毎年1回年次学会を開催する。
- 第 21 条 年次学会長は会員のうちから評議員会で選出し、総会で承認され、年次学会の運営にあたる。
2. 年次学会長は幹事会に出席することができる。

第7章 会 計

- 第 22 条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもってあてる。
- 第 23 条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第 24 条 本会の収支決算は、監事の監査を受け、評議員会の議を経て総会の承認を得るものとする。

雑 則

- 第 25 条 本会則の変更は総会の決議によるものとする。

附 則

- 第 26 条 会費は年額3,000円とする。
- 第 27 条 本会則は、昭和28年6月29日より施行する。
- 昭和33年6月13日
一部改正
- 昭和39年5月17日
一部改正
- 昭和49年9月6日
一部改正
- 昭和56年7月9日
改正
- 昭和57年6月8日
改正